

会 議 録

会 議 名	令和5年度第1回船橋市環境審議会	
事 務 局	環境部環境政策課	
開 催 日 時	令和5年10月6日（金）午後2時15分～午後4時00分	
開 催 場 所	市役所本庁舎 9階 第一会議室	
出 席 者	委 員	沼子会長、阿部副会長、西廣委員、谷合委員、市原委員、横堀委員、早川委員、林委員、斎藤委員、鈴木委員、竹口委員、副島委員、永井委員、中原委員、原戸委員
	事 務 局	環境政策課 中西課長、大野課長補佐、江森係長、河村係長 芦澤主任主事、大平主事
	そ の 他	岡田環境部長
欠 席 者	委 員	藤井委員、山本委員、岡委員、三橋委員、高橋委員
傍聴者	1名	
議 題	<p>(1) 船橋市環境基本計画の令和4年度における基本施策及び重点的な取組の進捗状況の報告について</p> <p>(2) 生物多様性ふなばし戦略<改定版>の令和4年度における取組の進捗状況の報告について</p>	

会議経過	<p>令和5年度第1回船橋市環境審議会</p>
	<p>大野課長補佐 ただいまから、令和5年度第1回船橋市環境審議会を始めさせていただきます。</p>
	<p>新しい任期の第一回目となりますので、まず、委員の皆様のご紹介と事務局の職員の紹介をさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
	<p>中西課長 環境政策課長の中西です。</p> <p>まずは、環境審議会委員の皆様より自己紹介をお願いしたいと思います。斎藤委員より反時計回りの順番とさせていただきます、恐れ入りますが、御起立いただいた上で、一言御挨拶をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">(委員紹介)</p>
	<p>中西課長 ありがとうございます。</p> <p>続きまして、事務局職員等を紹介させていただきます。</p> <p style="text-align: center;">(事務局職員等紹介)</p>
	<p>中西課長 それでは、審議会開催に当たり、環境部長の岡田よりご挨拶申し上げます。</p> <p>岡田部長 皆さま、本日はお忙しい中、環境審議会にご出席いただきましてありがとうございます。また、日ごろより環境行政を含め市政にご協力いただき併せてお礼申し上げます。ありがとうございます。</p> <p>本日、議題とさせていただきます船橋市環境基本計画および生物多様性ふなばし戦略の施策につきましては、新型コロナウイルスの影響等もあり遅れているところもあります。今年度につきましては、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類になったことで、取組にもあるイベントの実施などもできるのではないかと期待しています。</p> <p>市長からも先ほどお話がありましたが、市の取り組みについて少し紹介させていただきます。</p> <p>一つは、今日の議題でもある生物多様性戦略にも関係してきますが、昨年度より、ふなばしエコカレッジという生物多様性に関するリーダーの育成や、環境団体を含めてそういうものに取り組んでもらうといった目的で、1年間で約20コマの座学およびフィールドワークの実施といった内容で昨年から実施しています。おかげさまで、今年度は定員を超える方から応募いただいて、今年は30名でエコカレッジを開講して進</p>

めているところです。

その他にも、地球温暖化防止対策としまして、船橋市は南と北にそれぞれ清掃工場があり、可燃ごみを焼却した際の熱エネルギーを利用して発電をしています。その発電したものを、現在は実証実験というかたちではありますが、昨年度、高瀬下水処理場に自己託送というかたちで、今月からは本庁舎にも託送するというところで取り組んでいます。その他にも、学校や公民館などの避難所に太陽光パネルと蓄電池の設置など取り組んでいるところでございます。

皆さま、本日、市役所にお越しいただいた際にお気づきになられたかかもしれませんが、10月は食品ロス削減月間というなかで、環境部の資源循環課が中心になって、1階から2階の階段回りに、私たちが食品ロスに対しどのようなことができるかというパネルを掲示させていただいております。また、市役所に入ってすぐ右側に、小中学生の夏休みの宿題だったのかかもしれませんが、各生徒さんたちが取り組んだ取組が冊子になって置いてあります。先日見たところ、今お話しした食品ロスの関係も含めて台地と流域ですとか、環境に関するレポートをまとめていて頼もしいなと私は思ったところですが、環境審議会終了後、もしお時間があれば、是非子どもたちが作成したものを見ていただいて、階段回りの市が作成した食品ロスの関係の掲示物も見ていただければと思います。

本日、2つの計画について色々のご報告させていただき、至らないところもあるかと思いますが、皆さまからは忌憚のないご意見をいただいて、計画のレベルアップに繋げていきたいと考えておりますので、本日はよろしく申し上げます。

大野課長補佐 それでは次に、審議会の運営に当たり、会長及び副会長を選出する必要がございますが、委員就任後初めての審議会であるため、選出されておられません。

そこで、会長が選出されるまでの間、環境政策課長の進行により会長を選出したいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

大野課長補佐 それでは、課長、よろしくお願いたします。

中西課長 それでは、これより、会長が選出されるまでの間、進行を務めさ

せていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは、船橋市環境審議会規則第2条第1項に基づき、委員の互選により会長を選出したいと思っております。自薦・他薦がございましたら、お願いいたします。

横堀委員 高根台中学校の横堀でございます。昨年に引き続きまして沼子委員を推薦します。昨年度会議に参加させていただいて、非常に深い知見と議事進行の手際の良さを感じておりますので適任だと思っております。

中西課長 ただいま沼子委員へのご推薦がございましたが、沼子委員を会長に選出することについて、ご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

中西課長 それでは、沼子委員を会長に選出することに決定いたしました。

ありがとうございました。沼子会長、恐れ入りますが、会長席へ御移動いただき、一言御挨拶をお願いいたします。

沼子会長 皆さまこんにちは。船橋市環境審議会の会長に推薦していただきありがとうございました。私は、千葉大学理学研究院の沼子と申します。ちょうど今週が私たちにとってエキサイティングなノーベル賞ウィークなので、ノーベル賞に関係するお話をさせていただければと思います。コロナパンデミックを非常にいい状態に抑えているメッセンジャーRNAのワクチンの開発の方がノーベル賞をとって、コロナパンデミックになったのが2020年くらいからなので、すごく早い受賞だなというのが印象に残りました。私たちにとってはコロナが増えてワクチンが開発されて、なんとかステイブルなところに入ったということで、すごく世界的な恩恵を被った研究でしたが、実はそのメッセンジャーRNAの研究は30年くらい前から行われていました。メッセンジャーRNAを使ってワクチンを作るという常識が当時はなく、メッセンジャーRNAが不安定な物質で、体の中に入った時に私たちの免疫の細胞がそれを攻撃して壊してしまってワクチンとして働かないというのが30年前にはありました。それで、メッセンジャーRNAのワクチン化は難しいと言われていたのが、今回ノーベル賞をとったお二人が、ステイブルなかたちで自分たちの体のなかでワクチンとして使えるようにしてくれて、それが開発のベースになりました。コロナパンデミックになる1年くらい前には実用化の目途がついていたのですが、コロナになってしまって社会

活動がかなり停滞して、そこで大手の製薬会社はその論文に行き当たってメッセンジャーRNAがうまくいくということに気づいてワクチンを開発し、国もそういったような状況でやり方を変えて薬品の承認も早く、そして私たちの実用も早くということで色々なものが変わってきました。コロナパンデミック前でしたらこのワクチンの承認には10年以上かかっていたと思います。そういったような社会的な仕組みをより良く私たちも環境に合わせるようなかたちで、コロナ自体はいいことではありませんが、そういった困難に直面した時に知恵を出し合って、技術を出し合うことを繰り返していることを実感したコロナパンデミックです。今回の受賞もこんなに早く成果とともに皆さんに認めてもらったということで非常にいいノーベル賞だったと思います。

一方で、環境問題も似たことがあるのではないかと考えています。私は1968年生まれで、私が生まれた頃は公害問題が非常に大きくて、法律で公害のものを抑制しようと色々な法律ができて、おかげで水俣病の原因だった水銀中毒や四日市ぜんそくの原因になった環境物質が抑止されて、今の子どもたちもそれに罹患することがありません。一方で、ずっと問題になっている温室効果ガスの問題など色々な新しい環境問題が出てきて、それに対応するような物質の抑制を行い、環境が良くなってきている一方で、地球温暖化というのは長期的な話で、私が生まれてからずっと地球温暖化の問題が続いていますし、すぐに解決できる話ではないというのは皆さんご存じのとおりです。それには産業構成、国の力、色々なものが働いていて、一国一地域だけがそういうものを抑制したら直るというものではないということで、かなり長期的にかかる問題だと思います。ですが、先ほどのメッセンジャーRNAの開発のように、日々とにかく私たちができることを努力して蓄積してそれを邁進していかない限りは世界を救うことはないと思います。環境の話はまだまだ先が見えなく、どんどん新しい問題が出てくるので解決策を考えていかなくてはならない問題です。ですが、私たちがそれを弛まぬ努力で続けることがとても重要で、例えば、船橋というこの環境の保全、文化の保全というのも、私たちが日々弛まぬ努力で続けていかなければいけないことだと思っています。そういったなかで、船橋市の場合は、環境基本計画や生物多様性ふなばし戦略などの指針を基に、色々な市民の行動、または学習、啓発活動などリードしていただき、それでよくなってきていると私は感じています。この環境審議会は、環境基本計画や生物多様性ふなばし戦略を策定するときに、私たちのような色々なバックグラウンドを持っている人間が知恵を出し合って、それを現時点での船橋のかたち

に合ったもの、また、将来より良くするために持っていくというようなかたちで議論をしたり、提案をしたり事務局と一緒に新しい案を考えていきたいと思います。そのためには、皆さまには活発に積極的に熱意を持って参加していただくことが必然で、これから2年間皆さまと一緒にすごく大きな環境問題の解決の一端を担っていくために、私も頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

中西課長 ありがとうございます。それでは、この後の進行につきましては会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

沼子会長 どうもありがとうございます。それでは、まず副会長の選出を行いたいと思います。副会長も委員の互選により定めることとされておりますので、自薦・他薦がございましたらお願いいたします。

斎藤委員 今、沼子会長がおっしゃったように環境問題も世界的な問題になっておりまして、今までとは方針が変わってくると思いますが、その中で、まさにその名のとおり地球の先生がおりまして、先ほど自己紹介をしていただいたアースドクターの阿部委員を推薦したいと思います。今後とも、私たちを引っ張っていてもらいたいと思います。

沼子委員 阿部委員の推薦がありましたが、阿部委員を副会長に選出することについて、ご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

沼子会長 それでは、阿部委員を副会長に選出することに決定いたしました。阿部副会長、副会長席へご移動いただき、一言御挨拶をお願いいたします。

阿部副会長 阿部です。よろしくお願いいたします。先ほど自己紹介をしましたが、今日の午前中に船橋市の環境の奨励校である南本町小学校で出前講座の授業を行ってきました。小学3年生の3クラスを対象に海洋プラスチックごみ問題をテーマに行いました。JAMSTEC（ジャムステック）という研究機関がありますが、これは海と地球に関する日本でトップクラスの機関で、また、沖縄にGODAC（ゴードックセンター）というものがあります。JAMSTECで行った研究内容を全世界に普及させる広報担当になります。そのGODACでオンライン授業を行って

います。是非船橋市の小学校で沖縄のGODACから海洋プラスチックごみの授業をやってもらおうと、45分の授業と30分の質疑応答を私たちが企画して行いすごくよかったです。ただ、残念だったのが、JAMSTECの講師が、児童に海に行ったことがあるか聞いたところ、ほとんどの児童が手を挙げましたが、千葉の海を綺麗だと思っているかどうか聞いたところ、ほとんどの児童が手を挙げませんでした。すごくがっかりしましたが、一番よかったのは、質疑応答の最後に代表質問があり、私たちはこれから何をすればよいか質問されました。JAMSTECの講師は、とにかく身の回りの小さなことから始めることと、自分の意見を回りの人に伝えることを行いましょうと答えました。とてもいい授業だったと思います。船橋市というのは、海があり、川があり、山があり、それと先ほど市長も環境基本計画とおっしゃっていましたが、「みんなでつくる 恵み豊かで持続可能な都市 ふなばし」、これは目指す環境像としてはすごく良いと思います。是非これを実現するために、色々な活動をしたいし、環境審議会においては、私は副会長という立場で会長を補佐するかたちで務めていければと思いますので、よろしく願います。

沼子会長 どうもありがとうございます。

それでは、これより令和5年度第1回船橋市環境審議会を開会したいと思います。まず、事務局より環境審議会についてご説明をお願いいたします。

大野課長補佐 審議会開催に当たり、5点ほどお願い事項がございますので説明させていただきます。

まず1点目は会議録の作成と発言内容の確認です。

本審議会に限らず、市の審議会や委員会は情報公開の対象となっており、会議終了後、概要及び会議録を作成し、委員の皆さまのお名前と共に公表することとなります。このため、審議会でのご発言につきましては、録音をさせていただきます。ご面倒ですが、ご発言は、会長の指名後にお手元のマイクの下にありますスイッチを一度押した後に、マイク部分のランプが点灯したことを確認した後に、お名前をおっしゃっていただいた上でご発言いただき、ご発言が終わりましたら再度スイッチを押していただきますようよろしくお願いいたします。

2点目は発言内容のご確認です。会議終了後、事務局において会議録を作成し、確認のため皆様方にメール等で送らせていただきます。会議

録作成の都合上、皆様方のご発言を要約しております。誤りがございましたら、恐れ入りますが、修正のうえ事務局にお送りください。

3点目は傍聴についてです。本審議会は原則公開としており、会議の傍聴と会議録の公開については、これを認めております。希望者があった場合は、会議の妨げとならない範囲内で入場していただくこととなっております。

4点目は委員名簿の公表です。船橋市附属機関等の設置及び運営に関する指針により委員の氏名及び役職等を公表することとなっております。つきましては、本審議会終了後、お手元の委員名簿の氏名、所属団体及び役職を公表いたしますので、名簿に修正がある場合には、お手数ですが、終了後にお申し付けください。

5点目は環境審議会の審議内容についてです。

船橋市環境基本条例では、環境審議会における事務について定めております。概要を申し上げますと、1つ目は、環境基本計画の策定に際し、意見を述べること。2つ目は、市長の諮問に応じ、環境の保全に関する基本的事項を調査審議すること。3つ目は、他の条例において定められている内容について審議することとなりますので、これらの審議事項についてご理解をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

最後に、本日の審議会ですが、委員20名中15名の方が出席しております。船橋市環境審議会規則第3条第2項により、審議会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができないと定められておりますが、本日は半数以上の委員が出席されており定足数を満たしていることをご報告いたします。

沼子会長 ありがとうございます。

それでは、まず事務局にご確認したいのですが、本日、傍聴人はありますでしょうか。

大野課長補佐 おります。

沼子会長 わかりました。傍聴者は入室してください。傍聴される方は、傍聴券に記載の注意事項に従い傍聴していただくようお願いいたします。

それでは、まず、事務局より配布資料の説明をお願いします。

江森係長 それでは、配布資料の説明をさせていただきます。

まず、本日の令和5年度第1回船橋市環境審議会の次第になります。次

に「船橋市環境基本条例および船橋市環境審議会規則」、「船橋市環境審議会委員名簿」、資料1「第3次船橋市環境基本計画令和4年度年次報告書(案)」、資料2「各評価の前年度との比較」、資料3「生物多様性ふなばし戦略<改定版>令和4年度年次報告書(案)」になります。また、「第3次船橋市環境基本計画」と「生物多様性ふなばし戦略<改定版>」についてもご持参を依頼させていただいております。

資料に不足等がある方いらっしゃいますでしょうか。

沼子会長 次第に沿って審議を進めたいと思います。

【議 題】

- (1) 船橋市環境基本計画の令和4年度における基本施策及び重点的な取組の進捗状況の報告について

沼子会長 議題(1) 船橋市環境基本計画の令和4年度における基本施策及び重点的な取組の進捗状況の報告について事務局より説明をお願いします。

江森係長 議題(1) 船橋市環境基本計画の令和4年度における基本施策及び重点的な取組の進捗状況の報告について、説明致します。

【資料1, 2を説明】

沼子会長 お聞きのとおり事務局より説明がありましたが、御質問や御意見がございましたら挙手の上、御発言をお願いします。

沼子会長 よろしいでしょうか。

【議 題】

- (2) 生物多様性ふなばし戦略<改定版>の令和4年度における取組の進捗状況の報告について

沼子会長 続いて議題(2) 生物多様性ふなばし戦略<改定版>の令和4年度における取組の進捗状況の報告について、事務局より説明願います。

河村係長 議題(2) 生物多様性ふなばし戦略<改定版>の令和4年度にお

ける取組の進捗状況の報告について、説明致します。

【資料3を説明】

沼子会長 ありがとうございます。今から10分ほどで質疑応答をさせていただきますと思います。事務局の説明に対して御意見・御質問がありましたら挙手の上、御発言をお願いします。

原戸委員 生物多様性の報告書の18ページの取組状況の中段の基本的な施策①-2畑地・水田の保全と利用で援農ボランティアの会員数に、2020年度の基準値が359人、現状値が389人と書いてあります。私は援農クラブの会員ですが、現状は40人くらいしかいないので、この数値は間違いではないかと思えます。

河村係長 詳細の人数等につきましては、担当課が出してきている数値になりますので、やや参考といったところのご説明にはなりますが、毎年会員数につきましては、入ってくる方と辞められる方がいらっしゃると思いますが、基本的に入ってくる方の合計数を取り、辞められた方の減少している分の人数は勘案していないと担当課からは聞いております。

原戸委員 今回の回答ですと、10年間で毎年何十人と入ってくる合計としていくということでしょうか。

河村係長 そのように担当課からは聞いております。

原戸委員 会員数という表現より会員延べ入会数などの表現が適切かと思いますが、会員数というと年度によって変わりますので、2020年は何人、2022年は何人といった数値でみていくのがいいと思えますし、延べ人数だと減ることはないので、そのような数値の取り方についていいのか議論も必要かと思えます。

河村係長 いただいた意見を参考に担当課と協議させていただきたいと思いますが、生物多様性ふなばし戦略で5年間指標として定めているところですので、修正については、次の生物多様性ふなばし戦略の策定の際に行うことになるかもしれませんが、その際や、今後担当課と協議する際

には参考にさせていただきたいと思います。

原戸委員 この表現をするのであれば会員数ではなく会員延べ入会数などと書いておかないとわからないと思います。私はいくつかの会に入って役員をしていますが、会の人数の増減を毎月総会において報告しますので、その時には去年と比べて何人の増減があるかという報告をしています。報告の仕方として延べ人数が一般的とは思えないので検討していただければと思います。

中西課長 委員よりいただいたご意見はもっともなご意見だと思いますので、どのようなかたちで表現できるか担当課と協議させていただきたいと思います。

斎藤委員 環境基本計画年次報告書の25ページの状態指標の状況の動植物の生息地又は生育地となり得る緑地等の割合というところで、2023年度と2030年度の目標値に現状維持と書いてありますが、D評価の指標で現状維持としているところがよくわかりません。基準値よりも現状値が下がっていることに対して対策はありますか。

河村係長 市としては、緑地面積を増やすことや緑地の保全に努めていくところではございますが、この指標は状態指標といったところで、市の方でコントロールすることが難しい指標として設定しています。

斎藤委員 今後検討していきますという回答が報告書の中に入っているべきではないでしょうか。

沼子会長 今後どうするのかということは他に文章で書かれていると思いますが、目標値が現状維持というのはそぐわないと思うので具体的な数値が入ってほしいと思います。

中西課長 この状態指標につきましては、船橋市としての緑地等の割合の上限值として令和元年度の基準値の24%を減らさないようにしていかうとすることが目標としての現状維持で数値化できないところがあります。目標値を現状維持とするのか24%とするのかというところの違いはあると思います。令和4年度は22.2%になってしまい現状維持ができなかったためにD評価としており、何もしないということではあり

ませんので、今後、現状維持という表現なのか24%という数値に置き換えられるのか検討させていただきます。

西廣委員 年次報告書をまとめながらPDCAのチェックをかけていくという位置づけであると、もちろんその中には数値的に評価できるものや、しやすいもので進捗管理するということは当然大事ですし、ご指摘があったように、数値として少し現実と合っていないのではということをチェックしながら行っていくのはいいことだと思いますが、ただそれだけではなく、元々の生物多様性ふなばし戦略には、数字には評価しにくいけれども、こういう方向性を大事にするということを書き込んでいる部分もあり、その中で時代に合わせてとても重要になってきたらきちんと反映させて、いいことがあったら、あるいは課題が認識されたら報告書に述べていくということが大事だと思います。そう考えた時に、元々の計画のなかでも生物多様性とビジネスの好循環を作っていく、そういう方法を目指しますという表現があります。特にこういう方向がここ数年非常に国際的にも国の方針としても求められるようになってきているし、環境が整備されてきています。今年の3月に公表された国の新しい生物多様性国家戦略でもネイチャーポジティブ経済を推進しましょうとか、そういうものを目指すというのは経団連の自然保護協議会が出していくとか、先月はTNFDといった企業が自然環境や生物多様性に対してどのくらい依存しているか、プラスマイナスのどんな活動をしているかということ公表していく国際的なルールが整備されて、これからそういうことをしていく企業が評価されるというような流れがあるなかで、一文書かれてはいますが、とても大きな動きになってくると思います。質問ではなくコメントですが、是非こういった方向も戦略に沿った活動として推進されて、成果があったら次の報告書に書き込んでいくことを意識していくと魅力的な戦略の活用になっていくと思います。

中西課長 ご意見ありがとうございます。詳細なところのお話はできませんが、西廣委員がおっしゃったようなお話というのは少しずつこちらの方にも情報をいただいていますので、この5年間というところでも整理をさせていただきながら、次の改定の際は具体的に取るようにと考えているところがございますので、5年間の中でも少しずつ取り入れていきたいと思っています。ありがとうございます。

沼子会長 資料が非常に膨大で、今回時間が1時間とちょっとくらいしか説

明をいただく時間がなくて、今回ご参加された中でご発言をいただいた方が3人ですが、他にも色々なご意見があると思います。もし可能でしたら、そういったご意見をメール等で事務局の方に送っていただければ個別にご回答もいただけるとと思いますし、改善の方針等も示していただけるとと思いますので、膨大な量でするので得意なところから、または気が付いたところに対して事務局の方にご連絡いただいておりますので、お願いいたします。

中西課長 ご説明する時間が大変短く申し訳ありません。そういったかたちでご対応いただければ有難く思います。よろしくお願いいたします。

沼子会長 特に今回から初めて委員になられた方は二つの資料の内容が濃いと思いますので、もう少し時間をとって1、2か月後くらいまでには出していただければ、1月以降の今年度の報告書にもフィードバックをかけられると思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

原戸委員 もう少し質問したかったところですが、報告の時間が長くて質疑の時間が非常に短いと感じました。環境審議会ではこれが普通ですか。

沼子会長 本日はかなり時間が短いと思います。通常は2時間くらい時間をとって質疑応答の時間はありますが、今日は冒頭で委嘱等の時間があり、会議時間も16時とされていて、この後もご予約のある方もいらっしゃるのでは延長ができません。

原戸委員 毎回このペースだった場合は発言できないと思ひまして、メールよりも皆さんに聞いてもらった方がいいと思うので、もう少し時間をとってもらいたいと思います。

岡田部長 市長からも話があったように、通常であれば忌憚のないご意見をいただいた中で皆さんに議論していただくべきですが、今回は大変申し訳ありませんでした。説明の時間が長すぎて質疑応答の時間がとれなかったということで、通常は議論をいただくお時間はとらせていただいているところです。今回この点を反省点とさせていただいて、次回は皆さんでご議論をいただくという時間を十分とらせていただければと思います。

	<p>沼子会長 通常は予め資料をお送りして質問票というようなかたちでまとめていただいて論点をまとめることもしています。ただ人数も多いですし、5時間も6時間もとると会議としては難しいので、いい折り合いのところで司会の私も含めて考えながら進行します。</p> <p>原戸委員 5時間も6時間もやってもらいたいとは考えていなく、コンパクトに2時間でまとめるべきだと思いますので、そのような時に事前に質問をまとめて会長の権限である程度精査していただくことは賛成です。</p> <p>沼子会長 まだまだ議論したいことがおありだということはわかりますが、お時間がきましたので、これで今回の環境審議会を終了させていただきます。事務局からは何かございますか。</p> <p>江森係長 本日の会議録につきましては、作成後、委員のみなさまへ送付し、確認をしていただいたのちに、公表いたします。お手数ですが、会議録の確認にご協力をお願いいたします。</p> <p>また、各年次報告書については、本日ご意見をいただいた内容や、今後メール等でいただいた内容について修正させていただきまして、修正した内容を沼子会長にご確認いただくことを一任させていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。</p> <p>一同 異議なし</p> <p>江森係長 ありがとうございます。沼子会長にご確認いただいた後にホームページで公表させていただきたいと思います。</p> <p>沼子会長 よろしいでしょうか。それでは、以上で、令和5年度第1回船橋市環境審議会を終了させていただきます。どうもありがとうございました。</p>
資料	<p>船橋市環境基本条例および船橋市環境審議会規則</p> <p>船橋市環境審議会委員名簿</p> <p>資料1 第3次船橋市環境基本計画令和4年度年次報告書(案)</p> <p>資料2 各評価の前年度との比較</p> <p>資料3 生物多様性ふなばし戦略<改定版>令和4年度年次報告書(案)</p>